



平成 28 年 11 月 7 日

各 位

会社名 東京コスモス電機株式会社

代表者名 代表取締役社長 高橋 秀実
(コード番号 6772)問合せ先責任者 執行役員 管理本部長 企画部長
小野沢 一実
(TEL 046-253-2111)**営業外費用（為替差損、製品補償損失）の計上及び
平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ**

平成 28 年 5 月 16 日に公表しました平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間及び平成 29 年 3 月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想値の修正
(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,600	10	40	20	1.28
今回修正予想 (B)	3,585	45	△62	△52	—
増減額 (B—A)	△15	35	△102	△72	
増減率 (%)	△0.4	350.0	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	3,647	△36	16	4	0.29

2. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正
(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,280	30	110	70	4.46
今回修正予想 (B)	7,280	90	10	0	—
増減額 (B—A)	0	60	△100	△70	
増減率 (%)	0.0	200.0	△90.9	△100.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	7,159	△100	△30	△217	△13.84

3. 業績予想の修正が生じた理由

(1) 第 2 四半期（累計）連結業績予想について

売上高につきましては、可変抵抗器・車載用電装部品とも数量ベースでは予想値を若干上回りましたが、円高による円換算ベースの目減り（前年同期の為替レートによる換算額との差額は約 140 百万円）が予想を上回ったことで相殺され、ほぼ当初予想値のとおり推移しました。

利益面につきましては、生産工程や原材料の見直しにより、営業利益は予想値を上回りましたが、急激な円高による為替差損 71 百万円が発生したことに加え、連結子会社における工程トラブルにより製品補償損失 48 百万円等を営業外費用に計上したことから、経常利益・親会社株主に帰

属する四半期純利益とも予想値を下回る結果となる見込です。

(2) 通期連結業績予想について

通期連結業績予想につきましては、今後の為替動向は不透明ではありますが、大型受注案件の生産が下期から本格的に稼働しますので、通期の売上高は当初計画とおりと予想しています。

利益面につきましては、営業利益は下期、引続き生産工程や原材料の見直しによる収益力の強化が予想されますが、減価償却費の増加で一部相殺されるため、上期並みの水準を予想し、通期での予想値を上げました。しかしながら、上期に計上した営業外費用を全てカバーするには至らないと予想しておりますので、経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益の業績予想を修正いたします。

なお、平成 28 年 10 月 17 日に開示しました「中国工場統合に関するお知らせ」につきまして、工場閉鎖に伴う従業員への経済補償金や機械装置の移設費用等の発生が考えられますが、現時点では発生する費用の総額が未定のため、上記の業績予想には反映しておりません。

(注) 上記の業績予想は、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものであり、実際の業績は、経済状況や製品需要の変動、為替相場の変動などによって、本資料の予想とは異なる可能性があります。

以上